



平成 30 年 7 月 30 日

国際化学オリンピック参加生徒の成績について

文部科学省では、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて、国際的な科学技術コンテストに参加する若者を支援する事業を実施しておりますが、この度、スロバキア・チェコ（2か国開催）で開催された「第 50 回国際化学オリンピック」に参加した生徒が、金メダル等を獲得したとの連絡を受けましたので、報告いたします。

（共同発表：「夢・化学-21」委員会、公益社団法人日本化学会）

1. 受賞状況：金メダル 1 名、銀メダル 2 名、銅メダル 1 名

2. 参加者：4 名の高校生

3. 受賞者詳細：

いしい たかなお 石井 敬直さん	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）	3 年（17 歳）金メダル
にしぐち たいち 西口 大智さん	甲陽学院高等学校（兵庫県）	3 年（17 歳）銀メダル
ますなが ゆう た 増永 裕太さん	聖光学院高等学校（神奈川県）	3 年（17 歳）銀メダル
ふくもと ゆう と 福本 優斗さん	大阪星光学院高等学校（大阪府）	3 年（18 歳）銅メダル

（年齢は本大会終了時点のもの）

4. 参加国数/人数：76 か国・地域 / 300 名

5. 場所 / 期間：スロバキア（ブラチスラバ）、チェコ（プラハ）/
平成 30 年 7 月 19 日（木）～29 日（日）

6. 派遣機関：「夢・化学-21」委員会、公益社団法人日本化学会

（お問合せ）

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 浦山、香浦

電話：03-6734-4191

公益社団法人日本化学会 大倉、日置

電話：03-3292-6164

◆大会概要

- 国際化学オリンピックは 1968 年に東欧 3 か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）にて第 1 回大会が開催された。
- 2018 年のスロバキア・チェコ大会は、第 50 回目。
- 日本は、2003 年から参加を開始し、毎年 4 名の生徒を派遣。本年は 16 回目の参加。
- 昨年タイ大会は、76 か国・地域、297 名の生徒が参加し、日本の成績は金メダル 1 名、銀メダル 3 名であった。
- 2021 年の第 53 回国際化学オリンピックは日本で開催される。試験やセレモニーは近畿大学で行う予定。
- 本年は、76 か国・地域から 300 名の生徒が参加し、日本は金メダル 1 名、銀メダル 2 名、銅メダル 1 名であった。

◆日本代表団（参加生徒）の日程

7 月 1 8 日（水）	成田空港出発、ウィーン空港到着
1 9 日（木）	参加登録
2 0 日（金）	開会式
2 1 日（土）	エクスカーション
2 2 日（日）	エクスカーション
2 3 日（月）	実験課題試験
2 4 日（火）	エクスカーション
2 5 日（水）	理論問題試験、再会パーティ
2 6 日（木）	エクスカーション
2 7 日（金）	エクスカーション
2 8 日（土）	閉会式
2 9 日（日）	ウィーン空港出発
3 0 日（月）	成田空港到着

◆参加生徒

いし い たかなお 石井 敬直さん	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）	3 年（1 7 歳）金メダル
にしぐち たいち 西口 大智さん	甲陽学院高等学校（兵庫県）	3 年（1 7 歳）銀メダル
ますなが ゆう た 増永 裕太さん	聖光学院高等学校（神奈川県）	3 年（1 7 歳）銀メダル
ふくもと ゆう と 福本 優斗さん	大阪星光学院高等学校（大阪府）	3 年（1 8 歳）銅メダル

◆国際化学オリンピックにおける過去3年間の日本代表の成績

2015 年（第 47 回 アゼルバイジャン大会）

金メダル 2 名、銀メダル 2 名（参加規模：75 か国・地域、292 名）

2016 年（第 48 回 ジョージア・トビリシ大会）

金メダル 1 名、銀メダル 3 名（参加規模：67 か国・地域、264 名）

2017 年（第 49 回 タイ大会）

金メダル 1 名、銀メダル 3 名（参加規模：76 か国・地域、297 名）

◆国際化学オリンピック（IChO=International Chemistry Olympiad）について

1968 年に東欧 3 か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の学力試験から発展した、1 年に 1 度開催される「化学」の国際大会である。参加資格があるのは高校生または高校と同等の学校（ただし高校相当の学年）に在学する 20 歳未満の生徒となる。

大会は世界の高校生が一堂に会し、化学の実力を競うと同時に交流を深めることを目的としている。毎年 7 月に 10 日間の日程で開催され、生徒らはそれぞれ 5 時間の実験問題と理論問題に挑戦する。成績優秀者には金メダル（参加者の約 1 割）、銀メダル（同約 2 割）、銅メダル（同約 3 割）が授与される。

日本は 2003 年のアテネ大会より参加している。

◆化学グランプリについて

「化学グランプリ」は、国際的にも通用する若い化学者を育てることを目的として、「夢・化学-21」委員会と日本化学会化学教育協議会が 1998 年、東京と仙台の 2 か所で試験的に実施したのが始まりである。翌 1999 年から、「化学グランプリ」（2012 年改称）として全国規模で開催されるようになり、今日では参加者が 4 0 0 0 人を近くになる大会に発展している。本大会は、毎年、国際化学オリンピックへの代表候補生徒を選抜しており、参加者のうち高校 2 年生までの成績優秀者約 20 名が同代表選手の一次候補生徒として推薦されている。

◆参考資料に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本化学会／大倉、日置

TEL03-3292-6164／FAX03-3292-6318

一般社団法人日本化学工業協会内／鎌田（「夢・化学-21」委員会）

TEL03-3297-2555／FAX03-3297-2615

○ ホームページ <http://icho.csj.jp/>
 <http://www.kagaku21.net/>